

# 枯枝とり棒 D.B.Picker

## 取扱説明書

製造・販売元



**ダイトウ テクノグリーン株式会社**

この度は“枯枝とり棒 D.B.Picker”をご購入いただき、誠にありがとうございます。  
以下に使用上の注意事項を記載しております。製品を安全にお使いいただくため、  
十分ご理解のうえ、正しくご使用下さい。

## 使用上の注意事項



**警告** (誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの)

- ◆本製品は枯枝を折り取るための器具です。異なる目的で使用しないで下さい。  
(先端は刃物ではなく、整枝剪定を目的とした器具ではありません。)
- ◆本製品を投げたり、振り回したりしないで下さい。
- ◆本製品の先端を人に向けたりしないで下さい。
- ◆本製品を使用する際は、ヘルメットを着用して下さい。
- ◆落下させる枝の下には立ち入らないで下さい。
- ◆電線等の架空線がある箇所では、絶対に使用しないで下さい。  
(山吹色の上部先端側の竿①と、下部尻栓側の竿⑧、⑨は、電気を通さないグラス  
ファイバー製ですが、架空線に接触すると大変危険です。)
- ◆竿を伸ばし立てたまま移動しないで下さい。(架空線があると危険です。)



**注意** (誤った取扱いをしたときに、軽傷または物的損害に結びつく可能性のあるもの)

- ◆持ち運び時は、収縮させてキャリングバッグに入れて下さい。
- ◆本製品を使用する際は、人的・物的損傷しないように周囲を確認して下さい。  
また、監視員を配置するなど、樹木下の安全性を確保したうえで使用して下さい。
- ◆風が強いときは、竿を伸ばすと煽られることがありますのでご注意下さい。
- ◆先端金物は、締め付け確認してからご使用下さい。締め付けが緩いと、枯枝に引っ  
かけた際に金物が落下することがあります。  
(締め付けには、M5用8mmスパナとプラスドライバーを使用して下さい。インパ  
クトドライバーで強く締めすぎると、竿が破損する恐れがあります。)  
(先端金物が現場で外れてしまった時に備え、スパナとドライバーを持参しておく  
と安心です。)
- ◆強い力で引っ張っても折れない枝は、自然落下する可能性が低いと判断し、作業を  
中止して下さい。必要以上の力を加えて枝を落とそうとすると、竿が破損したり、  
先端部の金物が外れて落下したりすることがありますのでご注意下さい。

## 1. 枯枝とり棒 D.B.Picker とは

---

枯枝とり棒 D.B.Picker (Dead Branch Picker) は、落下が予見できる枯枝を発見した点検者が、スピーディに枯枝を折って落とすための器具です。

竿を伸ばすことにより、最大 10m先の枯枝を対象とすることができます。

## 2. 特徴

---

- 必要な長さに伸ばして使用でき、最大長 10mで使用可能
- 持ち運ぶ際は、収縮させると L1.4mとなりコンパクトサイズ
- 本体約 1.6 kg (キャリングバッグ込みで約 1.8 kg) と軽量
- 先端部の金物は、枯枝を引っかけたり押ししたりしやすい特殊形状 (刃物ではありません)

## 3. 仕様

---

形状

竿 部：φ15～36mm (最大長 約 10m)

先端部：120×70×17mm

主な部材の材質

竿 部：グラスファイバー、カーボン

先端部：亜鉛メッキ鋼板

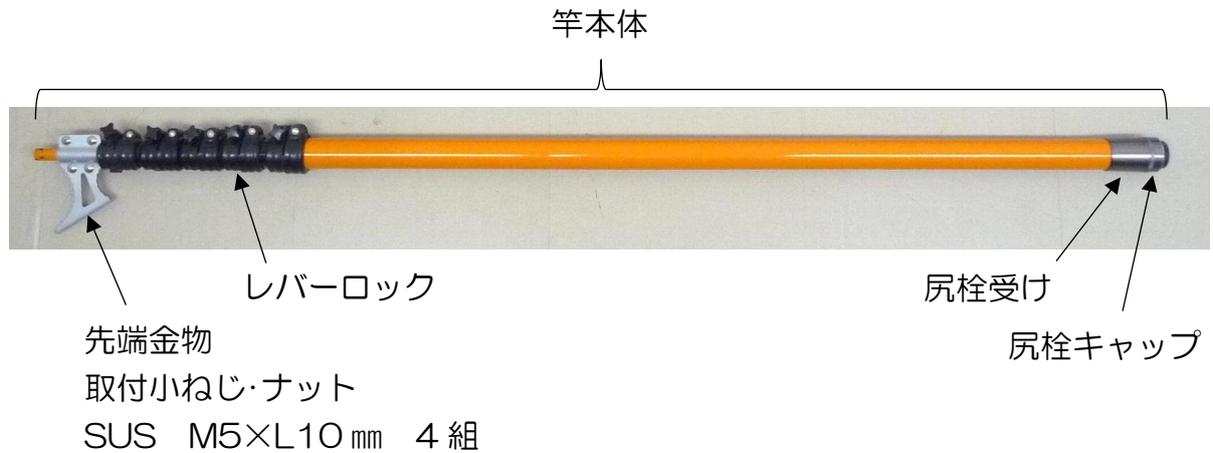
レバーロック：樹脂

キャリングバッグ：ナイロン

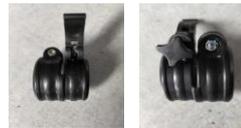
収納時寸法 120×70×L1330mm (キャリングバッグ 176×1380mm)

重量 約 1.8kg (本体 約 1.6kg)

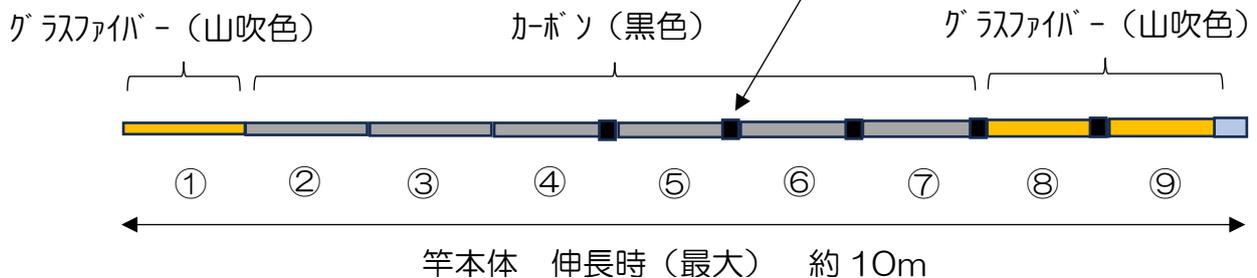
## 4. 各部の名称



### キャリングバッグ

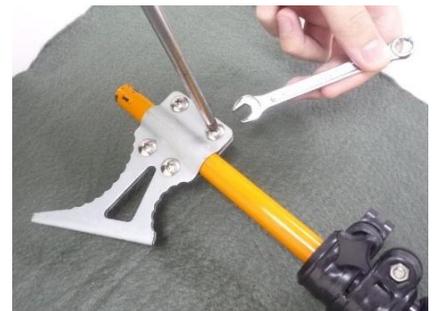


### レバーロック 5ヶ所



## 5. 使用前の確認

先端金物は、ねじが緩んでいないか確認して下さい。  
緩んでいる際は、M5用8mmスパナとプラスドライバー  
を使用して締め付けて下さい。インパクトドライバーで  
強く締めすぎると、竿が破損する可能性があります。  
尻栓キャップも締まっているか確認して下さい。



## 6. 竿の伸ばし方

---

竿本体は、倒した状態で伸ばしたほうが安全です。

### 6-1. 枯枝に引っかけて落下させる場合

- 1) 上部（先端部）の竿①から順に、必要な長さまで竿を伸ばします。  
上部はテーパ式ですので、竿が止まるまで引っ張り上げます。
- 2) 下部はレバーロック式ですので、以下の手順で行います。



1. レバーを開いてロックを解除
2. 竿を上方へ伸ばす
3. レバーを閉じて再びロック

- 3) 枯枝に引っかけて落下させる場合の最大長は、約 10mです。  
倒した状態で竿を伸ばしてから立てる際、風に煽られやすくなります。  
滑り止めの軍手等を着用し、必ず周囲を確認のうえ、しっかりと竿を握って垂直に立てます。  
作業前は、下部（尻栓側）を地面に付けておくと安定します。

## 6-2. 枯枝を押しして落下させる場合

- 1) 下部（尻栓側）竿⑨のレバーロックを解除し、竿⑧を伸ばします。
- 2) 竿⑨のレバーを再びロックし、竿⑧のレバーロックを解除して竿⑦を伸ばす・・・という順番に、レバーロックを4段目（竿⑤）まで伸ばしたら、上部（先端側）のテーパ式部分を伸ばし、竿⑤のレバーロックを解除して竿④を伸ばし、再びロックします。
- 3) テーパー式部分の竿①～③は収縮させます。
- 4) 枯枝を押しして落下させる場合の最大長は、約 6.4mです。



## 7. 竿の縮め方・収納

竿を縮める際は、「6. 竿の伸ばし方」と逆の順序で行ないます。

竿に汚れが付着した場合は、必ず拭き取ってから縮めて下さい。

汚れたまま収縮させると、竿がしっかりと縮まらず、キャリングバッグ内に収まらなくなったり、再度伸ばせなくなったりします。

竿本体の中にゴミが入ってしまった場合は、尻栓キャップを回して外すと、取り除くことができます。



キャリングバッグに収納する際は、先端金物に保護スポンジを装着して下さい。



## 8. こんなときは・・・

### 8-1. 先端金物を紛失してしまったら・・・

先端金物のみで販売しております。

先端金物を取り付ける際は、M5用8mmスパナとプラスドライバーを使用してしっかりと締め付けて下さい。インパクトドライバーで強く締めすぎると、竿が破損する恐れがありますのでご注意下さい。



### 8-2. 先端部の竿を破損してしまったら・・・

竿①～③は、交換することができます。

先端金物を、M5用8mmスパナとプラスドライバーを使用して取り外し、尻栓キャップを外すと、竿①～③を取り外せます。



先端側

尻栓側

竿①

竿②

竿③

竿④～⑨



## Memo

---

### 9. その他

---

その他ご不明な点は、下記販売元までお問合せ下さい。

Ver.1.0

製造・販売元  
ダイトウテクノグリーン株式会社  
〒194-0013 東京都町田市原町田 1-2-3  
TEL 042-721-1703  
FAX 042-721-0944  
URL <https://www.daitoutg.co.jp>